

会 議 議 事 録

1 会議名	令和3年度長岡市食育推進会議
2 開催日時	令和4年3月2日（水） 午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 3階 中央公民館講座室
4 出席者名	久保田委員、熊倉委員、佐藤委員、高橋委員、土田委員、猪貝委員、園田委員、西本委員、原委員、福居委員、村山委員 （事務局） 茨木健康課特命主幹、小林係長、古川栄養士、倉内保健師、上石会計年度任用職員、渡辺会計年度任用職員、長谷川係長（農水産政策課）、加藤係長（学務課）、杉坂会計年度任用職員（学校教育課）、金子栄養士（保育課）、大平係長（市民協働課）
5 欠席者名	石黒恵美子委員、長部千里委員、武田典夫委員、永井正紀委員
6 議題	（1）令和2年度、令和3年度食育推進事業の実施状況について （2）次期長岡市食育推進計画について
7 審議結果の概要	（1）令和2年度、令和3年度食育推進事業について進捗状況を報告し、事業について意見を伺ったもの （2）次期長岡市食育推進計画について、計画策定に関するスケジュールと市民対象アンケート調査の内容について意見を伺ったもの

司会	<p>ただいまから、令和3年度長岡市食育推進会議を開催いたします。開会に先立ちまして健康課特命主幹が御挨拶を申し上げます。</p>
特命主幹	<p>(あいさつ)</p>
司会	<p>ありがとうございました。議事に入ります前に、委員の変更がございましたので御紹介いたします。</p> <p>(新任委員の紹介)</p> <p>それでは、会議を開催いたします。なお、本日出席の委員は15名中11名で、委員の過半数の出席がありましたので、規則第5条第2項により、本会議が成立していることをご報告申し上げます。本日の議事の内容につきましては、情報公開条例により、発言者の名前を伏せた形で、求めに応じて議事録等の公開を行うこととなっておりますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>それでは議事に入ります。進行につきましては、規則第5条第1項により、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>よろしくをお願いいたします。オンラインでも会議は初めてですの不慣れですが、皆様のお助けをお借りして進行していきたいと思えます。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次第第2 議事の(1) 令和2年度、令和3年度食育推進実施状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>令和2年度、令和3年度食育推進事業の実施状況について説明がありました。これに対し、意見等ある方は挙手をお願いします。</p> <p>無いようですので、今年初めての取り組みということで、「畑の先生による食農講座」で畑の先生でいらっしゃいます〇〇委員、ご感想等いただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>去年、保育園に畑に来てもらったり、こちらの方から伺ったりしてやっていました。主に市内でも近郊に畑や自然環境に恵まれないところの保育園をお願いしたいということで募集しました。畑で菜の花摘みをしてもらって、それを持ち帰り、その中には畑にいた昆虫やカエルなど生き物に興味を持ってもらったということもあって、子どもたちがどのような形で畑に作物がなっているかなど、春先ですが見ていただきました。また今回健康課の職員に現場に来て見てもらって、先</p>

	<p>生や子どもたちが何を望んでいるかを見てもらうことが第一と考えていました。それを参考に次回のものに結び付けていってもらえればと思っていたので、この会議に携わる職員に勉強してもらえてよかったと思います。また各園で行ったものは、実際に現場に行って、日当たりが悪かったり、もともと花壇だったところで土の質が悪かったり、機械が入れられないといった場所がありました。いなばこども園は広かったので、トラクターと耕運機を持って行って、耕すところを見てもらって、土に触ってもらって、自由にトラクターを触ってもらったりしました。この1年で感じたことは、保育園や幼稚園がある地域の農業者の方たちが園に行き、地域のつながりがある中で手伝ったり応援していった方がいいのではないかと思います。そして小学校中学校と上がっていくにしたがって、長岡市全体の農産物、また食に関するものとして知識を広げていってもらう、地域を広げていってもらう方が成長段階においた教育につながるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございました。 本日の議題1について、議事を終了いたします。 次に議題2、次期長岡市食育推進計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 アドバイザー</p>	<p>(事務局・アドバイザー説明)</p>
<p>会長</p>	<p>それではアドバイザーの先生の御説明、事務局からの説明について各委員の皆様の立場からお一人ずつお話をいただければと思っております。今回から初めて参加される〇〇委員につきましては、IT関係で堪能でありますのでその視点からでも、新しく4次計画にも関わってきますのでご意見いただければありがたいと思います。それでは順番にお話を伺います。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート調査項目と指標の関連について。No.12「普段の食事に郷土料理や長岡野菜を取り入れるようにしている市民の割合」という項目がありますが、郷土料理と地場産の野菜を一緒に聞かず、分けた方がいいのかと思います。食文化として考えられる郷土料理と地産地消としての地場産野菜というのは一色単に入れていくと出てきた数字が混乱するのではないかと印象を持ちましたので検討していただきたいと思います。また先生のお話の中で、有機農産物を選んでいきましょうとおっしゃっていましたが、この点について長岡市の方で有機</p>

委員	<p>野菜を推進していく取り組みなどありましたらぜひ教えてください。</p> <p>今お話があったように、地場産の野菜と郷土料理を同じ項目でよいのか次回検討していただけないかと思います。また食品ロスの関係で、県の食育計画には指標はないのですが、食品ロス削減のための計画も県の方で作成され、4月以降それにもとづいて推進されると思うので、ぜひ入れていただきたいです。またコロナ禍で、長岡市では災害時や非常時の食育というのが私の方で読み取れなかったのも、自然災害だけでなくコロナ等で家族が食べ物に困ったときに、食品の備蓄等の大切さというのもどこかに入れていただくと良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>問 19「あなたは今までに、学校やコミュニティセンターなどで食に関する活動に参加したことがありますか」とありますが、学校現場では今コロナ禍でこの2年間試食会が中止されています。この指標はなかなか難しいのではないかと思います。No.32、33で、当学校として残食が非常に多いです。国や県や市の方で、色々なものを食べてもらうという風に考えて、メニューなど工夫してもらっているが、なかなかそれを食べつけない生徒がたくさんいて、家庭でそういうものを食べつけないので、いざ出てきても「これは私は食べられない」、「食べたくない」との理由で、残食が多いのではないかと思います。なぜ残すかという分析はそこまでしていないのですが、家庭での食育というのも考えていかなければならないのかなと学校の立場から考えております。</p>
委員	<p>コロナの中で昨年度も一昨年度もそうでしたが、その中で事業を進められてきたことは大変だったと思います。ありがとうございます。国連の方でSDGsの流れをつくりました。これの解釈によっては、ものすごい多岐にわたるところか、すべての項目に渡ることになってきますのでこれに沿ってアンケートを作るのはかなり難しい話になると思います。しかし、アンケート項目をSDGsに則って変更していくのは、流れの中で必要だと思います。健康課の皆さんは、委員の意見をまとめて、また市役所内部の意見をまとめる必要があると思うので頑張ってくださいと思います。</p>
委員	<p>第4次食育推進基本計画にあたっての目標の1～16までの項目がありますが、その中の11「山地や生産者を意識して農林水産物・食品</p>

委員	<p>を選ぶ国民を増やす」</p> <p>12「環境に配慮した農水産物・食品を選ぶ国民を増やす」とあります。これを完全に文章化して、これを推し進めすぎても問題があるのかなと思いました。どういう文言や説明をつけて目標にするのかというのは非常に難しいことだろうなと思います。いずれにしても SDGs のようなものには大賛成ですし、今やプラスチックごみも燃えるごみの紙にしようと、すべての面でそういった運動がなされていますが、これは食品に対しても私ども飲食に関わる業態なので、高いお金を頂いて料理をいっぱい出して、それを結局飲む方に集中して料理がたくさん余ると。お客様は見た目で料理を選びますので、5品よりは8品あった方がいいよね、ということで注文なさるわけですが、結果的には飲んで話しているとなかなか食べられるものではないという部分から、やはり意識革命をして、おいしいものを、バランスのとれたものを量を考えて提供する。そういったことを我々業界からもやっていく必要があるのではないかと感じました。</p> <p>まず1点。資料5の35「あなたはいわゆる郷土料理や伝統料理を～」とありますが、文言です。他に地場産と地元産という違いです。あと認識の問題。これについて郷土料理と伝統料理に関しては先ほど農水省の担当に直接電話で聞きました。これに関しては長くなりますので後ほど職員に伝えておきます。地場産と地元産もあらゆるところに出てきます。原信とウオロクの本店のバイヤーさんにも問合せしました。地場産と地元産は今のぼり旗を使わざる得ないので使っていますけれども、具体的な表記に関しては区域など区切ってしますと県境にあるお店や、市境にあるお店になってしまうと、地場産・地元産とすると店舗でも説明がつかないのであまり明確にはしたくないので、近郊というものを加えたりと地域地域によって対応は変えているという判断をしているそうです。それに合わせて伝統野菜ということについても、農水省や新潟県、長岡市、直接担当者との2、3年間打ち合わせをしていますが、国としても明確な基準はないとのこと。各市町村で決めているとのこと。いずれ問題があってから伝統野菜の基準は決められないけど、指針は決めることになるかもしれないということでした。それに関連しますと、郷土料理と伝統料理とは何なのか、詳しく教えてほしいという小学生や消費者も出てくる可能性があります。その場合どのようにして説明するか。また長岡市の場合は中心部が2度の戦災で様々な貴重な民間レベルの資料が消えているわけです。戦前に伝統料理や郷土料理として食べられていた方が、すでに高齢になられていたり他界されている中で、また老舗の料理店が</p>
----	---

	<p>潰れている中で、その資料や記憶をいかにして残すかという調査は今後非常に重要になります。いかに調査して、今後に残していくかというのを早いうちから、健康課だけでなく例えば文書資料室の資料検索して頂くとか農水課の職員に動いてもらってという、横の連携もしながらできるだけ資料を集めていくことが必要かと思います。次に食品ロスについてですが、農家として一番どこでロスが出ているかといいますと、実は畑なんです。畑の農作物を収穫してそのあとに何を見るかという、青果市場やお店では規格外のものは売れないので、畑に残したり廃棄したりします。あとは生産した後に、今年はネギですが、あまりに価格が下落して日本全国であまりに余る状態だと、収穫せずにそのまま畑に残したり、すき込んだりして廃棄したりする。それは膨大な量になります。ただそれを廃棄しているだけではなく、生産するには燃料費、肥料費など。それをまとめてみるといかに無駄が多く出ていると考えると、農業側としても生産調整を作る前に SDGs など考える必要があるのではないかと思います。また消費者にもその辺のことを考えていただいて、いかに食品ロスが家庭に出る前に、必要なものなのかどうなのかと。農業現場ではS規格、A規格、B規格（規格外）などもっと細かい規格があってそれにそぐわないものは捨てられているんだということを理解して頂くことで、SDGs の根本的なことに気づいてもらえるのではないかと思います。</p> <p>アンケートのことについて感じたことですが、小学校の現場では気になるのは子どもの孤食。家族と一緒に食事がとれているかどうか。それから朝食の状況ですが、早寝早起き朝ごはんの取り組みを当校でもしておりますので朝食の摂取率は高いような状況ですが、これは子どもというよりは親の意識かと思いますので、成人にアンケートを採ると共に、供食であるとか朝食の大切さをぜひとも啓発していただきたいと思います。そして、「お手伝いをするこの割合」という項目があったかと思います。当校の保護者アンケートでも取ったりすると、様々な取り組みをしているけれど、家庭でもお手伝いをするような指導をしてもらいたいという意見も若干あって、学校としても指導をしていく必要があると感じております。教育の力というのは大事だなというのは日々感じておりますので、食育について学校でも、しっかりと子どもたちにバランスのとれた食事であるですか、しっかりと3食摂るということを指導していかなければとアンケートを見て感じました。ITということで、感じたことをお話しください。「食育に関心のある市民の割合」ということでアンケートにあったかと思いますが、第3次計画の取り組みの中に「広報誌やマスメディアを利用</p>
--	--

委員

	<p>した情報発信」という内容があったかと思ひます。様々な部分で発信されていますが、当校の子どもたちも YouTube であるとか、様々なメディアを目にしています。そういったところで、食に関する啓発の部分で長岡産の野菜を取り入れる良さであったりとか、ぜひ YouTube であったりとか様々な面で情報発信していただき、その情報がどれだけ効果があるのかあたりをどこかアンケートで調査できればいいのかなと感じております。</p>
委員	<p>保育園の立場として食に関する第一歩が保育園から始まっていると思ひます。お子さんだけではなく、親の意識改革をやる立場である、直接親御さんと会う機会もありますので、そこからまた食育が進んでいったらいいなあと考えております。そして保育園の給食は一食なのですが、その中で郷土料理など色々なものを栄養士さんの方で取り入れていただいたり、「地場産の野菜を使ったものをあげてあります」とお手紙では発信していますが、もっと広く伝えるためには IT 化も入れながら保育園でも発信できたらと思ひています。</p>
委員	<p>たくさんの目標があつて実行するのは大変そうだと思ひています。医療の立場から考えますと、食事のバランスよく食べるとここには書いてあるのですが、このバランスよくというのは曲者でして、例えば私の考えるバランスの良い食事と、皆さんの考えるバランスの良い食事というイメージが違ふと思ひます。具体的にこう食べてほしい、というのをもっと掘り下げて伝えていったらよいと考えております。野菜といつても、スーパーの野菜コーナーに行きますといもやかぼちゃや、とうもろこしも並んでいますが、これは穀物です。栄養素としては炭水化物で、ごはん・パン・麺と同じでんぷんです。「野菜食べました」と言つて「ポテトサラダです」言われても芋でして、野菜ではないです。患者さんで時々そういった話をする事もあります。ここには塩分のとりすぎについても書いてありますけれど、病院に來られた方で「薄味にしていますか」と聞くと、「みそ汁を薄めて全部飲みました」と。同じ量を摂つていて塩分は変わらないですね。塩分を控えるためにはもっと具体的に何をしたらいいのか。そこを伝えるのが難しいが大事だと思ひています。「減塩を気にしていますか」とここにも書いてありますが、実際に食卓に実現させるのは本当に難しいです。具体的にどう動いていくことができるか、私もいつも考えているが大事ではないかと思ひます。今回アンケートの素案がここにありますが、ぜひ市の皆さんの食事の内容を伺つてみたいという気持ちを持ちました。実際このアンケートを書く人がどんな食事を摂っているの</p>

委員	<p>だろうか。回収するのはとても大変ですが、そういうのは知りたいなと思いました。また、今回の目標には入っていないのが残念ですが、高齢者の粗食です。後期高齢者、介護が必要な方の粗食。たんぱく質が不足したりという問題も、病院では日々目の当たりにしています。全部やるのは難しいのでどこか重点的に力を入れていくところが出ると思うのですが、うまくやっていただければと思います。</p> <p>コミュニティセンターの立場から話させていただきます。一時中止していた高齢者へ、月に4回毎週水曜日にお弁当を届けるという配食サービスは再開しております。バランスの良い、安く提供できるお弁当を続けてお届けしております。そこは何とかクリアして続けております。ただし、調理する方はそこで試食はせず、お持ち帰りで食べていただくようにして、コミセン内で食べないようにしています。また、中学校に行く機会がありましたが、やはり食品ロスのお話がありました。給食の残量が非常に多くて、そのことについて男子生徒からは「女子が残すので僕たちが頑張って食べているが、それでも残してしまう量が多い」と。どうして女子は食べないのかという話になり、思春期の特徴ではないだろうか。痩せ志向があるのではないだろうか。そういったことも食育と繋げて考えていくことが必要ではないかと感想を持ちました。</p>
会長	<p>先生、皆さんの意見を聞いて、また先ほどの説明を聞いて付け加えたり何かございましたらお願いします。</p>
アドバイザー	<p>皆さんのご意見や感想を伺って、様々な立場の方が集まる食育の会議は、食をめぐる様々な方面からの取り組みができるのでよいと思いました。例えば教育だったり、商工関係であったり、水産関係であったり、学校や保育所、医師会という形。様々な視点を入れながら取り組みを進めていくことが重要なところかと感じました。特に長岡市に関しては、他の市町村と比べて特徴的によくやられていると感じるのが、園児、保育所のところだと思います。あとは児童館の食育プログラムについても、資料1にありますが参加者も非常に多く、多くの市民にアプローチができる場として、子どもから入っていくのは一つの入口なのかと感じております。もう一つが、高齢者についてです。今回市の取り組み状況にはなかったのですが、人口構成から入りますとやはり少子高齢化という流れがありますので、高齢者に関しての取り組みも今後必要となってくると感じました。今は人間側の方でしたが、食品側からのコメントも多々ありました。食品ロスの問題であっ</p>

<p>会長</p>	<p>たり、地場産あるいは地元産という問題。郷土料理、伝統料理という問題も含めて今後の第4次の中で、整理をしていてもらいたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>たくさんのご意見がありました。事務局の方からまとめていただいで参考にしていただければと思います。また、初めに〇〇委員から質問がありました有機栽培について、取り組みなどお話しただけならありがたいです。Web ルームにおります農水産政策課の方お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>有機栽培についてですが、なかなか難しいところもありまして、特にお米づくりに関しましては、JA 等々でできるだけ化学肥料を減らして完全有機に近いような形で進めているところでもあります。完全に有機ということになりますと、作物の味とか食味とかそういったものに地力というのが影響してきますので、完全にということにはなかなかいかないという実態ではあります。できるだけ安全なものを、特に子どもたちや高齢者の皆さまに食べていてもらうような取り組みは今後当然引き続き考えていく必要があると考えております。農水産政策課としても県や国とも協議しながら進めていくべき問題と考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>全体を通して何かございますか。</p> <p>(なし)</p> <p>各委員の皆さまには様々な専門の立場からご意見いただき、大変ありがとうございました。以上で議事については終了いたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。これを持ちまして令和3年度長岡市食育推進会議を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
<p>8 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度長岡市食育推進会議次第 ・長岡市食育推進会議委員名簿 ・長岡市食育推進会議出席者名簿 ・(冊子) 令和2年度第3次長岡市食育推進計画実施状況報告書 ・(資料1) 令和3年度の健康課の取組状況 ・(資料2) 長岡市食育推進計画数値指標の変化と主要事業 ・(資料3) 私たちが育む食と未来 第4次食育基本計画(農林水産省) ・(資料4) 第3次計画評価および第4次計画策定のためのアンケート調査実施計画(案) 	

- ・(資料5) 成人アンケート調査項目と指標の関連
- ・(参考資料1) 食育に関するアンケートのお願い (H29 長岡市)
- ・(参考資料2) 令和2年度食育に関する意識調査 (農林水産省)